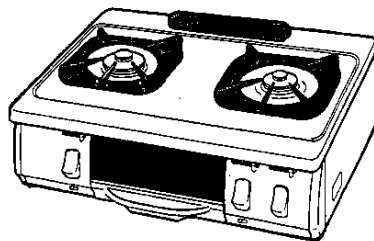


# ガステーブルコンロ

## 取扱説明書

10-928/929型

型式名 PA-3000H  
PA-3000H-R



このたびは、大阪ガスのガステーブルコンロをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みいただき、正しくお使いのうえ、別添の保証書とともに、大切に保管してください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

 **大阪ガス**

### 本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社 ☎550	大阪市西区千代目3-2-95	西大阪	06(586)3200
南部支社 ☎590	堺市住吉橋町2-2-19	西堺	0722(38)1131
北部支社 ☎569	高槻市藤の里町39-6	西高槻	0726(71)0361
東部支社 ☎578	東大阪市稲葉2-3-17	西河内	0729(62)1131
兵庫支社 ☎650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	西神戸	078(360)3100
京都支社 ☎600	京都市下京区中堂寺栗田町1	西京都	075(311)7381
奈良支社 ☎631	奈良市学園北2-4-1	西奈良	0742(44)1111
和歌山支社 ☎640	和歌山市本町1-5	西和歌山	0734(31)2481
兵庫西支社 ☎670	姫路市神屋町4-8	西姫路	0792(85)2221
豊岡支社 ☎668	豊岡市三坂町6-57	西豊岡	0796(23)2221
滋賀支社 ☎525	草津市追分町荒堀680-1	西草津	0775(62)5311
滋賀東支社 ☎522	彦根市大東町12-11	西彦根	0749(22)3131
(長浜営業センター) ☎526	長浜市南具服町3-4	西長浜	0749(62)7171
本社ガスビルサービスセンター ☎541	大阪市中央区平野町4-1-2	西大阪	06(202)2221

大阪ガス株式会社

**おねがい**

ガスくさいときは、ガス元栓を開め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。

### もくじ

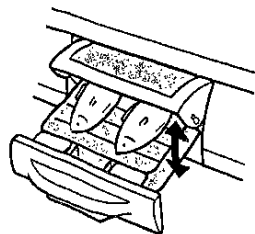
特長・機能の紹介	1
必ずお守りください	
各部の名まえと扱い	4
器具の設置	
使用方法	8
点検・お手入れ	
故障かな?と思ったら	15
寸法図・仕様	
保管とアフターサービス	17
別売部品のご紹介	

# 特長・機能の紹介

はじめまして・・・ ガステーブルコンロ 10-928/929型は次のような特長をそろえました。  
ぜひ、あなたのお台所で活躍させてください。

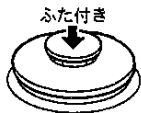


グリル扉がクルリと上方へ回転しながら開くため、お魚のひっくり返しがラクになりました。またグリル扉とグリルとってが別々になり、お手入れがとっても簡単です。



## 煮こぼれに強い クリーン バーナーキャップ

ふた付きのバーナーキャップで煮こぼれが下に落ちにくくなりました。



## 強火バーナー

標準バーナーの約2倍の火力で、中華料理や炒め物もおいしく。



## 点火確認ミラー

グリル内の炎が見やすいようにグリルとっての裏に点火確認ミラーを取り付けました。



点火確認ミラー

## 立消え安全装置

万一、風などによる吹き消え、煮こぼれなどによる立消えがあれば、自動的にガスをカットして生ガスの放出を防止する安全装置付きです。



# 必ずお守りください

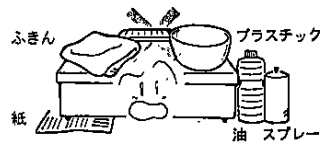
## ガスの種類を確かめる

銘板に表示のガス（ガスグループ）を使用する

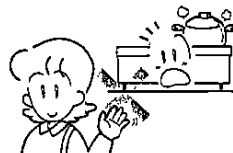


## 火災予防

周囲に燃えやすい物を置かない



火をつけたまま離れない



- ・特に揚げ物時は危険。
- ・火をつけたまま就寝・外出をしない。

## 換気に注意

使用中は、ときどき窓を開けるか換気扇を回す



## ガス事故防止

ガス用ゴム管を使用する  
(検査合格またはJISマーク入り)



点火・消火を確認する  
(使用中も、ときどき炎を確かめる)



ガス漏れ時はガス元栓を閉め、窓や戸を開ける

販売店またはガス会社に連絡を



絶対に火をつけたり、換気扇などの電源スイッチの入・切や電源プラグの抜き差し等はいないでください。

・使用後は消火を確かめ、長時間使用しないときはガス元栓も必ず閉めてください。

必ずお守りください

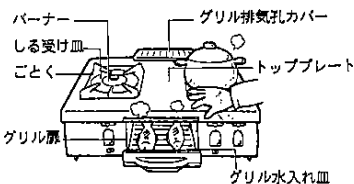
### 使用上の注意

調理以外の用途（衣類の乾燥や煉炭の火おこしなど）に使用しない

大きな鉄板・陶板類、上のせてんぴ等は使用しない

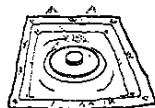


#### やけどに注意



・使用中、使用直後は上記の部分をさわらない

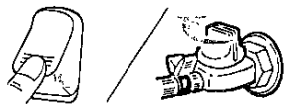
市販のアルミ箔のマットは使用しない



・炎に触れたり、浮きあがっていると点火不良や不完全燃焼の原因となります。

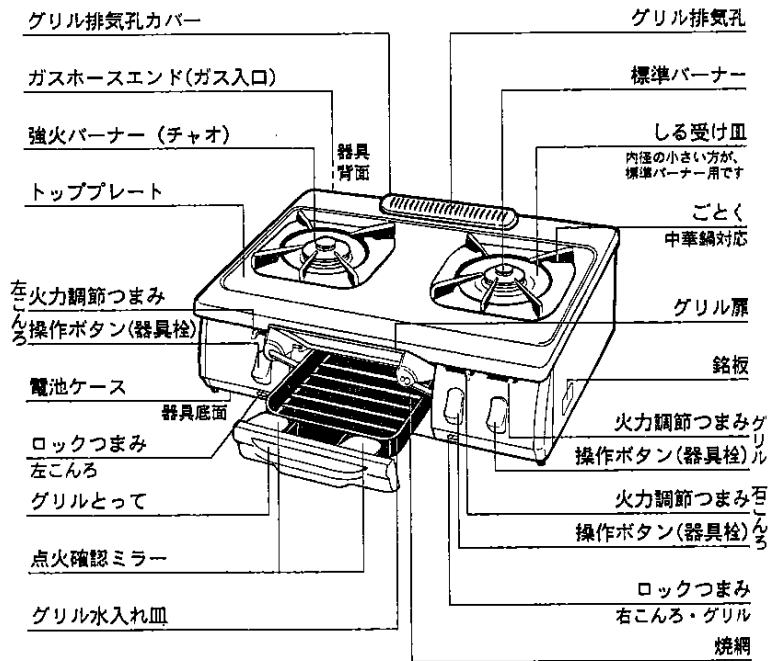
### 異常時の処置

異常燃焼したとき  
地震・火災などの緊急の場合



あわてずに消火操作し、  
ガス元栓を閉めてください

## 各部の名まえと扱いかた



必ずお守りください

各部の名まえと扱いかた

付属品 乾電池（単1 1.5V 1個） 取付けかたは6ページをご覧ください。

\*上図は10-928型（左が強火バーナータイプ）を示します。10-929型は強火バーナー、標準バーナーが入れ替わります。

# 器具の設置

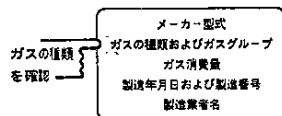
## ○ 設置前の準備と確認

### 1. 梱包を取ります

- 各部分のあて紙や包装部分を取り除きます。
- グリル内の包装した部分を取り出します。

### 2. ガスの種類を確認します

- ガスの種類は器具右側面に貼ってある銘板に表示されています。



## ○ 設置場所について

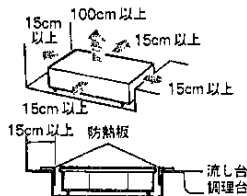
じょうぶで水平な換気の良いところに置く

- 棚など落下物の危険のあるものを上部に取り付けたり、置いたりしない。
- 紙、プラスチックなどの燃えやすいものをそばに置かない。
- 風で吹き消えることのないように、強い風が吹き込まないようにする。
- 熱に弱い樹脂製の照明器具の下には置かない。
- 水がかからないようにする。

## ○ 周囲の防火措置

### 1. 火災予防上必要な可燃物との離隔距離

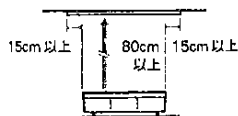
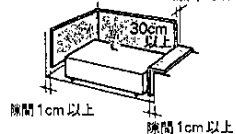
- 周囲の可燃物より15cm以上、上方は100cm以上離します。
- \*周囲の可燃物から15cm以上離して設置できる場合でも、トッププレートと流し台などの上面がほぼ同一のときは、防熱板 (コードNo.: 15-100-0105) で保護してください。



流し台  
調理台  
(流し台・調理台の上面が可燃性の場合)  
隙間1cm以上

### 2. 防熱板による防火措置

- 周囲の可燃物から15cm以上離せない場合は別売の防熱板 (コードNo.: 15-100-0077・0078...18ページ参照) を2~3枚取り付けてください。
- \*上方に防熱板を取り付けた場合、または不燃材の場合は、上方の離隔距離は80cm以上になります。



ステンレス板やタイルなどの不燃材でも可燃性の壁に直接貼り付けた場合、伝熱により長年の間に可燃物が炭化し、火災になることがありますので上記の防火措置を必ず行ってください。

## ○ 部品のセット

ごとく

3本ならんだつめを手前にしてセットしてください。

しる受け皿

内径の大きい方が強火バーナー用です。「テマエ」マークを手前にしてセットしてください。

グリル排気孔カバー  
ガタつきのないようにセットしてください。

トッププレート

本体の後ろと合わせ四隅をしっかりと押さえ込みます。

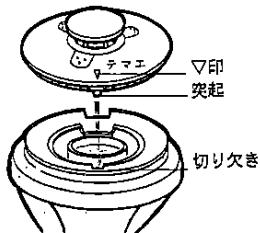
バーナーキャップ

乾電池  
(単1・1.5V・1個)

⊕が左になるように⊖から先に入れてください。

## バーナーキャップのセット

- バーナーキャップ上面の▽印をテマエ側にし、突起を切り欠きにはめます。
- 浮き、傾きのないようにセットしてください。



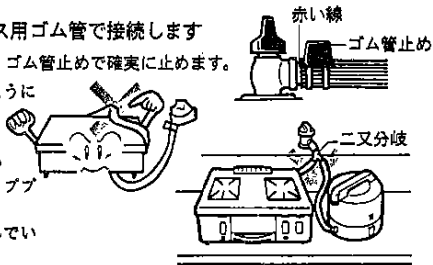
## 器具の設置

### ○ 接続のしかた

1. 器具とお部屋のガス元栓をガス用ゴム管で接続します

●ホースエンドの赤い線まで差し込み、ゴム管止めで確実に止めます。

- \*折れ・ねじれ・引張りなどのないよう
- \*器体に触れないように短く
- \*器体の上面や下を通さない
- \*継ぎ足しや二又分岐は絶対にしない
- \*炎や排気熱で加熱しないようにトッププレートより低い位置にセットする
- \*ひび割れしたり、差込み口がゆるんでいるゴム管は必ず取り替える



### ガスコード接続の場合 (ガスコードは13A専用です)

ガスコードを接続する場合は、ガス元栓側がカチットプラグになっていないと接続できません。従来のガス元栓で使用する場合は、別売のホースコック用プラグが必要です。

#### 1. ガス器具側の接続



上図のように、必ず別売の器具用プラグを器具用プラグ梱包台紙の裏面に記載してある取扱説明に従って器具のゴム管差し込み口に取り付け、次にガスコードの器具用ソケットを器具用プラグに「カチッ」と音がするまで押し込みます。

- \*ガスコードは必ずガステーブルコンロ用をお使いください。
- \*ガスコードの長さは2m以下にしてください。

#### 2. ガス元栓側の接続

① ガス栓を開ける時は



コンセント継手を「カチッ」と音がするまで、確実に差し込んでください。コンセント継手を差し込むとガス栓が開きます。

② ガス栓を閉める時は



コンセント継手のすべりリング (白色) を手前に引きます。コンセント継手がはずれるとガス栓が閉まります。

\*ガス元栓がガステーブルコンロ用であることを確認してください。

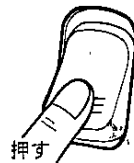
## 使用方法・こんろ

●ガス元栓を全開にします。

操作ボタンが押されていないことを確かめ、ガス栓を開けます。

### 1 点火：操作ボタンをゆっくりいっぱいまで押す

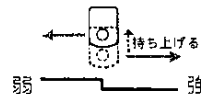
- 「パチ・パチ…」と音がして点火します。
- 点火してから数秒間、(安全装置がセットするまで) そのまま押し続けます。



### 2 火力調節つまみをゆっくり動かす

- 強火から弱火にするとき、つまみはいったん中ほど止まります。更に弱火 (とろ火) にするときは少し持ち上げて左に動かしてください。

\*急に「強」から「弱」にすると消火することがあります。

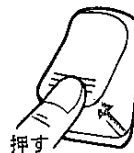


### 3 消火：操作ボタンをもう1度押す

- 消火を確かめガス栓を開めます。

小さなお子様のいたずら防止に…

- ロックつまみを右に動かすと、操作ボタンがロックされます。
- \*使用中には操作しないでください。



解除 ← → ロック

ご注意

点火操作時

- \*グリル使用中、使用直後のこんろ操作はグリル扉が閉まった状態で行ってください。
- \*手を離すと火が消える場合は、保持時間の不足です。いったんつまみを「止」の位置に戻し、あらためて点火操作して保持時間を長くしてください。
- \*しばらく使わなかったときや初めて使うときには、ゴム管内に空気が入って点火しにくいことがあります。空気を追い出すまで点火操作を繰り返してください。
- \*鍋等をごとくにのせて点火すると火移りが確実です。

使いかたのポイント

- \*鍋にあった火力でご使用ください。  
炎の先が鍋底に当たる程度が最適です。  
(それ以上大きくするのはガスのムダになります。)
- \*煮たったら火力を弱くしてください。  
沸とうが続く程度の火力に調節してください。  
(煮こぼれとガスのムダを防ぐためです。)
- \*鍋底の水はふき取ってからこんろにのせてください。  
余分な熱が必要になりますし、炎検出部に水滴がつくと消火することがあります。
- \*ひどい煮こぼれがあったときは、すぐ消火して、器具が冷えた後、必ず掃除してからご使用ください。(12・13ページ「点検・お手入れ」参照)
- \*強火バーナーではとって等の樹脂部が変形するおそれのある鍋もあります。  
ご使用には十分ご注意ください。

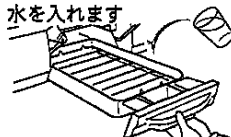
はじめて使うときは

グリル水入れ皿にコップ1杯分の水を入れ、約15分間空焼きします。

- 庫内の油を焼ききるためで煙と臭いが出て異常ではありません。

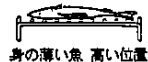
使いはじめるときは

グリル水入れ皿に  
コップ1杯分(約200c.c.)の  
水を入れます



\*200c.c.の水は20分程度でなくなります。

焼網をセットします



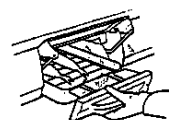
身の薄い魚 高い位置



身の厚い魚 低い位置

\*裏表で高さが変わります。

グリル水入れ皿を  
奥まで入れます



\*手をはさまないように気を付けてください。

1 点火：操作ボタンをゆっくりいっぱいまで押す

\*バーナー全体に火移りしたことを必ず確認してください。  
点火確認ミラーをご利用ください。

点火後3分ほど予熱した後、材料のをせます



押す

2 火力調節つまみをゆっくり動かす

●炎を見ながら材料に合わせて火加減します。



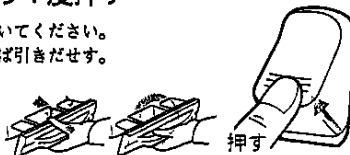
弱

強

3 消火：操作ボタンをもう1度押す

●グリル扉とってをもち、静かに引いてください。  
止まったところで少し持ち上げれば引きだせます。

\*グリル使用中、使用直後はグリル  
とって上部(特に金属部)が高温  
になりますので手を触れないでく  
ださい。



押す

焼きかたのポイント

- \*魚の場合、ヒレなどのこげやすい部分は、厚めに塩をふるが、アルミ箔で包んでおくこと  
けかたが少なくなります。
- \*焼網に油を塗っておくと、くっつきにくくなります。
- \*裏返した面は前よりもはやい時間で焼き上がります。



ご注意

- \*グリル扉近くは高温になります。やけどにご注意ください。
- \*グリル使用中、使用直後にグリル扉が開いた状態でこんろ操作を行うと手が触れてやけどのおそれがあります。グリル扉は必ず閉まった状態でこんろ操作してください。
- \*グリルを長時間使用するときは、水を追加してください。  
(水を入れずにあまり長時間使用しないでください。)
- \*水を入れず掃除をせず繰り返し使用し続けるとグリル内に脂や焼き汁が付着し、燃えるおそれがありますので十分お手入れをしてご使用ください。
- \*グリル使用中は魚等の焼きすぎにご注意ください。焼きすぎのまま放置すると、魚等が燃え、排気孔から炎が出ることがあります。
- \*グリル使用時は排気孔をふさがないでください。  
(火災や故障の原因になります。)
- \*グリル水入れ皿は扉がきちんと閉まるように置くまでしっかりと押し込んでください。(扉が開いたままになっているとトッププレートやグリルとってが熱くなることがあります。)
- \*使用中ガラスには絶対に水をかけないでください。
- \*加熱したグリル水入れ皿を水で急に冷やさないでください。  
(変形することもあります。)
- \*グリル使用時はこんろの網のとってをグリル排気孔の方に向けしないでください。(排気熱とってが熱くなります。)
- \*焼物は焼網からはみださないようにのせてください。
- \*グリル使用中は焼物の塩分(ナトリウム)や水中に溶解しているカルシウムなどが燃焼してバーナーの炎が赤味を帯びることがありますが異常ではありません。

点検・お手入れ

点検・お手入れは器具が冷えてから行ってください。

\*安全に正しくお使いいただけるように、点検とお手入れは定期的に行いましょう。

○点検のポイント

- まわりに燃えやすいものはありますか？
- ゴム管が古くなってひび割れしたり、器具に触れたり、折れていませんか？
- ゴム管はお部屋のガス元栓の赤い線まで十分に差し込まれていますか？
- ゴム管は器具のホースエンドの赤い線まで十分に差し込まれていますか？
- バーナーキャップ、しる受け皿、ごとくなどが浮いたり傾いたりしていませんか？
- 立消え安全装置の炎検出部に煮こぼれによる汚れがついていませんか？

○お手入れのしかた

ガス元栓を閉め、器具が冷えてからお手元に注意して行ってください。

器具表面のお手入れ

1. 前面をきれいにします

- 汚れのひどいときには、台所用中性洗剤を含ませた布で、汚れを落した後、乾いた布で水気と洗剤分をふき取ります。

ご注意

\*強力な洗剤、シンナー、ベンジン、みがき粉などは使用しないでください。表面にキズが付きまます。



2. トッププレートをきれいにします

- 汚れがひどいときには取りはずして台所用中性洗剤で水洗いした後、水気と洗剤分をふき取りまます。
- ・トッププレート前後の左右いずれかの隅を上へ持ち上げればはずれます。
- ・取り付けるときにはトッププレートの後部と器体(器具本体)の後部を合わせ、器体に押しさえ込んでください。

ご注意

\*トッププレートをはずした際には、器具内部には手を触れないでください。

## 点検・お手入れ

### グリル部のお手入れ

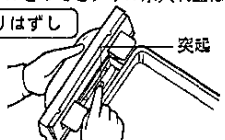
#### 1. グリル水入れ皿、焼網をきれいにします

\*脂などの汚れがこびりつかないようにそのつどお手入れしてください。

●グリル水入れ皿は、引いて止まったところで少し持ち上げれば取り出せます。台所用中性洗剤などで水洗いした後、よく水気をふき取ります。

▼グリルとってとグリル水入れ皿は取りはずしてお手入れができます。

#### 取りはずし



●グリルとってに片手を添えて突起を押し、グリル水入れ皿よりははずします。

#### 取り付け



●ツメをグリル水入れ皿にはめ込みます。●グリル扉を起こすと突起がグリル水入れ皿にはまり、固定されます。

\*ツメ以外のところにムリに、はめ込まないでください

#### 2. グリル扉をきれいにします

▼グリル扉は取りはずしてお手入れができます。先にグリル水入れ皿を引き出してください。

#### 取りはずし



1 支えを下方に引き小さい穴にある突起を大きい穴に合わせて内側に引きはずします。他方も同じようにします。

2 グリル扉を次のように動かして内側の軸からはずします。

- ①扉を斜めに持ち奥に押します。
- ②床とほぼ平行になるように上へ上げます。
- ③そのまま手前に引けばはずれます。

#### 取り付け



1 グリル扉の切り欠きを内側の軸にはめ込みます。

- ①扉を平行に持ち、奥へ差し込みます。
- ②そのまま下へ下げればはめ込まれます。

2 支えを下方に引き、突起を大きい穴からはめ込みます。他方も同じようにします。

### ご注意

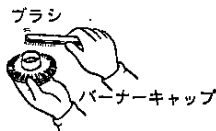
- \*グリル扉を取りはずす際は、落さないよう、必ず手で支えてください。
- \*グリル扉のガラスはみがき粉、金属たわしなどを使わないでください。(キズが付くと破損の原因になります)
- \*脱着および掃除の際は、グリル扉は変形させないように注意してください。(変形すると取りはずしにくくなります。)

### こんろ部のお手入れ

#### 1. バーナーキャップをきれいにします

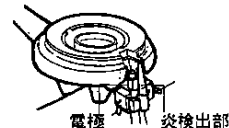
●炎が不ぞろいになったときは、取りはずして溝や穴をブラシや針金などできれいに掃除します。

●汚れがひどいときには、水洗いし、水をよくふき取ってから取り付けてください。



#### 2. 立消え安全装置の炎検出部をきれいにします

●汚れや水ぬれは、やわらかい布でふき取ります。



**ご注意**

- \*炎検出部の取付位置が変わると点火しにくくなりますので、動かさないようにしてください。
- \*固いものをぶつかけたり、固いブラシなどではみがかないでください。
- \*電極には触れないようにしてください。

#### 3. ごとく、しる受け皿、グリル排気孔カバーをきれいにします

●取りはずして台所用中性洗剤などで水洗いします。

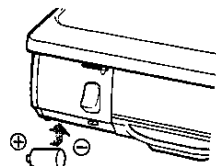
水洗いの後は、よく水気をふき取ってから取りつめます。

\*しる受け皿は「テマニ」を手前にして取りつけてください。



### ○ 乾電池交換のしかた

●乾電池は消耗品です。点火のときの“パチ・パチ”する音が遅くなったときは、早めに新しい乾電池と取替えてください。(単1 1.5V 1個)





# 故障かな?と思ったら

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのまま使いにならず、ただちに使用を中止され、十分な点検をしてください。

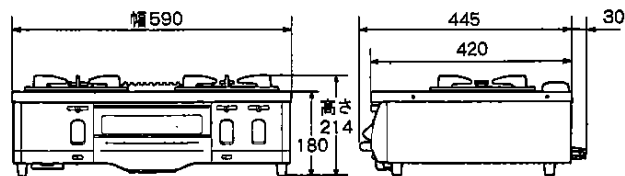
現象 原因	点火しない・点火しにくい	使用中に消火する	黄色の炎で燃える	炎が安定しない	異常な音をたてて燃える	ガスまたはいやな臭いがなる	処置方法	おまかせ	販売店または大阪ガス支社
ガス元栓の開き不十分	*	*					ガス元栓を全開にする	*	
ゴム管の接続が不完全	*					*	ゴム管を確実に接続する	*	
ゴム管内に空気が残っている	*						点火操作を繰り返す	*	
ゴム管の折れ曲がり・つぶれ	*	*					ゴム管の折れ、曲がりをお直す	*	
ゴム管のひび割れ・穴あき						*	ゴム管を交換する 先を切りつめる	*	
バーナーキャップの浮き・傾き	*	*	*	*	*	*	正しくセットする	*	
バーナー炎口の目づまり	*	*	*	*	*		バーナーの手入れをする	*	
乾電池が消耗している	*						新しい乾電池と交換する	*	
操作つまみ・点火装置の故障	*					*	点検・修理を依頼する	*	*
器具の銘板と使用ガスの不一致	*	*	*	*	*	*	点検・修理を依頼する	*	*
立消え安全装置の故障	*	*					点検・修理を依頼する	*	*

## ○次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理由
点火・消火したときに「ポッ」という音がする	点火音・消火音で異常ではありません。
使用中に「シャー」という音がする	ガスの通過音で異常ではありません。
点火や消火のあとに、キシミ音がする	金属が加熱や冷却されるために、膨張、収縮して起こる音です。

# 寸法図・仕様

## ○寸法図



単位：mm

## ○仕様

商品の呼び	10-928型	10-929型
型式名	PA-3000H	PA-3000H-R
種類	ガスグリル付こんろ	
点火方式	連続放電点火	
外形寸法	高さ214×幅590×奥行475 mm	
重量(本体)	11.6kg	
ガス接続	φ9.5mmガス用ゴム管	
安全装置	立消え安全装置	

使用ガス	毎時ガス消費量			
	強火バーナー	標準バーナー	グリル	全点火時
都市ガス13A (kcal/h)	4600	2150	1860	8300
LPガス (kg/h)	0.335	0.176	0.15	0.64

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

# 保管とアフターサービス

## ○保管（長期間使用しない場合）

●長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

- (1) ガス元栓を開める (2) 器具の汚れを取り除く
- (3) ホースエンドにほこりが入らないようにする (4) お買い求めになったときの箱に入れ、保管する

\*湿気・ほこりの少ないところで保管してください

## ○アフターサービスについて

### サービスの申し込み

●まず「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけのときは次のことをお知らせください。

1. ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印等）
2. 品名・・・10-928/929型  
（右のようなラベルが器具の左面下部に貼り付けてあります。）
3. 現象・・・できるだけ詳しく
4. 訪問ご希望日

(N) 10-928 (U)

大阪ガス株式会社 03

(N) 10-929 (U)

大阪ガス株式会社 02

### 転居される場合

●ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

### 保証について

- このガステーブルコンロには保証書がついています。
- 保証書に記載のようにガステーブルコンロの故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証書を紛失されますと、無料保証期間内でも修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

### 補修用性能部品の最低保有期間について

- 加料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。

# 別売部品のご紹介

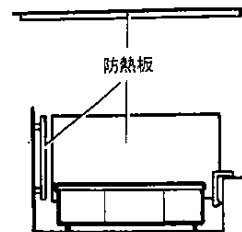
次のような別売部品を用意しています。

もよりの大阪ガスサービスセンター、または大阪ガス支社でお求めください。

## ○防熱板（壁取付用）

(コードNo.: 15-100-0077・0078)

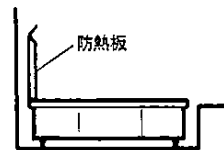
●設置場所で、可燃性の壁（ステンレス板等を貼り付けた可燃性の壁も含む）から15cm以上離して設置できない場合、図のように防熱板を2〜3枚取り付けて使用してください。



## ○防熱板（器具取付用）

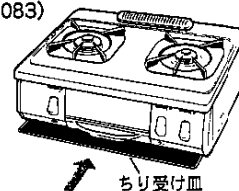
(コードNo.: 15-100-0112)

●強火バーナーの側面が可燃性の場合図のように取り付けて使用してください。



## ○ちり受け皿 (コードNo.: 15-100-0080・0083)

●器具の下、置台の上に設置して使用してください。



## ○ガスコード

0.7m	80-480	80-580
1.0m	80-481	80-581
2.0m	80-482	80-582

器具用スリムプラグ	81-359
ホースコック用プラグ	81-450